星供私次第

先 壇前普禮 備 供物水如常 香呂持ち起居禮三度

次 次 着座 辨具 不動刀印 次 威儀

次 次 焼香 普 禮 念珠置く 三匝念珠持ち乍ら普禮真言一返 已って次第を香に薫じ頂いて開く

次 ()塗香 「五分法身を磨瑩すと想え」

1

次三密観 蓮華合掌 文字十返 身三、口四、 意三

次 净三業 三部 被甲護身

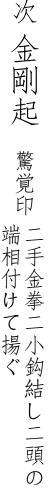
加持香水 常の如し

次 加持供物 各一遍 左手金拳にして腰に安ず右手小五股印 逆順各三反 真言

· 3 年 共 月 升 共 義 卫 条 卫 系 克 卫 系 口 出 表 环 子 山 ズオン ソ ンバ ニ ソ ンバ ウムギャリカンダウムギャリカンダ ハ ャ ウム ア ナウ ャ コク

二返

t 字観 金剛合掌 1字三返



オンバザラチシュタウン

火 普禮 金剛合掌

されあていれていそのますあではなっ サラバタ タギャタハンナマンナナウギャロ ミ

表白 開白、一座行法に用いる念珠香呂取り金二丁乙甲

藏・両部界会・諸尊聖衆・殊には金 敬って真言教主大日如来・金剛・胎

年・属星・本命曜宮・本命宿等・別て 輪佛頂尊·妙見菩薩·本命·元辰·當



三返

は高祖大師・遍照金剛・諸大列祖

護法の境界に白して言さく。総じては仏眼所照・微塵刹土・三寳 以下略□高髙